

# NEWS LETTER

# あけすの

医療法人社団曙会

シムラ病院・ニュースレター

令和元年度（Vol.10）



## ごあいさつ

曙会 シムラ病院は、昨年創立六十周年を迎えました。日頃よりの御指導、ご鞭撻に心より感謝申し上げます。

当院は「医療の原点は救急医療にある」との院宜のもと、広島の二次輪番救急に取り組んでまいりました。大きな社会変化の真只中ですが、最近では広島都市圏で最も問題化している外傷を中心に、出来るだけ断らないよう、病院あげて努力しています。

また、理念のもう一つの柱として全人的医療を掲げていますが、特に終末期医療に重点を置き、緩和ケア病棟（いわゆるホスピス）を設けています。死は万人に訪れるもので避けることはできません。出来るだけ安らかに尊厳を保った訪れを迎えて戴くために、手厚いケアに努めていきます。これからの多死社会を迎えるにあたって、国民全てが向き合っている問題です。

どのように社会が変化してゆこうとも、基本的な入り口（救急）と出口（看取り）の医療の重要性は変わらないと思います。出来れば医療者として逃げ腰になりそうな分野であるからこそ、民間の小病院ではありますが、正面から取り組む気概を持ちつづけたいと考えています。

また、多くの外傷の患者さんが、国民病ともいえる骨粗鬆症を有しており、外傷の治療のみにとどまることなく、引き続きこの疾患の治療にも専念すべく、検査機器も充実しておりますので、宜しく御利用戴ければ幸いです。

最後に、隣地に新しい施設の建設を計画中で、令和3年初頭に稼働を目指しています。手狭になった病院機能の拡充と介護保険適用の特定施設等を計画しております。工事中は何かとご迷惑をかけるかと存じますが、ご容赦下さい。今後とも引き続き宜しくお願い申し上げます。



令和元年5月吉日

医療法人社団曙会 シムラ病院  
理事長 種村 一磨



## 目次

- 表紙：ごあいさつ：理事長 種村一磨
- 目次
- 新年度のごあいさつ：院長 岩田尚士、院長代理 村田英明、副院長 池尻好聰（P.1-2）
- 就任のごあいさつ
  - ・ 副理事長 池尻佑美、整形外科部長兼外来医長 浅野圭（P.2）
  - ・ 一般病棟師長 富吉直美（P.3）
- 専門外来のお知らせ
  - ・ 整形外科専門外来について：院長代理 村田英明（P.3）、診療部長 吉岡徹（P.4）
  - ・ 外科専門外来について：院長 岩田尚士、一般病棟副医長 古川高意（P.5）
- 外傷について：外来医長 浅野圭（P.5）
- 骨粗鬆症外来、HR-pQCT、DEXA について：  
整形外科医 沖本信和、外来副師長 滝本真由美（P.6）、放射線科科長 森美由紀（P.7）
- 「ホスピス緩和ケアデー」イベントを開催：院長 岩田尚士、緩和ケア病棟師長 山崎真由美（P.8）
- 緩和ケア病棟紹介（P.8）
- 新任医師紹介：外科医 甲斐佑一郎、整形外科医 藤井紀光（P.9）
- 院外講演会活動（社会貢献活動）について（P.9）
- 各部署紹介
  - ・ 通所リハビリテーションのご紹介：リハビリテーション科主任 堀智博（P.10）
  - ・ MA（メディカルアシスタント）のご紹介：MA主任 今枝璃香（P.10）
  - ・ 診療技術部 薬剤科のご紹介：薬剤科科長 岡東祐孝（P.11）
- 地域連携室のご紹介：MSW 主任 山口亜紀子（P.12）
- Google ストリートビューで施設内をご覧いただけるようになりました（P.12）
- 当院からの紹介患者数と院外（他施設）からのご紹介患者数、外来患者延数、救急車受入台数（P.13）
- 「患者満足度調査」アンケート結果報告（平成 30 年度分）（P.14）
- 院内行事のご紹介（P.15）
- 専門外来診察一覧表（P.16）、外来診察予定表（P.17）
- 病院の理念、スローガン、基本方針、患者さんの権利（P.17）
- 交通のご案内（P.18）



## ● 新年度のごあいさつ

医療法人社団曙会 シムラ病院

院長 岩田 尚士



今年度は『令和』最初の年となり、新天皇が私と同年ということもあり、一層の感慨を持って新年度を迎えました。診療部は整形外科、外科ともに1名ずつ新戦力を迎えました。

「外傷症例は可能な限り受け入れる」という目標の下、昨年度は1,237台の救急車を受け入れ、手術件数も900件を超えました。今年度も1年365日、広島市2次輪番制参加病院として、『救急医療を通して社会に貢献する』という当院の理念を実践していきたいと思っております。

また、もう一つの理念である『全人的医療を貫く』ために在宅復帰を支援する回復期リハビリ病棟・地域包括ケア病床、人生の最終段階における医療を提供する緩和ケア病棟も、患者さんの期待に応えるべく、より一層の充実を図っていく所存です。地域の皆様の生活を支える一助になるべく、通所リハビリテーションの提供も続けてまいります。

整形外科、外科、内科の専門外来も一層の充実を目指しています（後述）。これまで以上に患者さんのニーズに応えた、様々な診療を提供できるよう努力を続けていきます。

地域完結型の医療を目指すには当院の機能のみで対応することは不可能であり、今後さらに地域連携を深め、皆様方の御支援を仰いでいきたいと考えております。これからも御協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

院長代理

整形外科 村田 英明



2018年度も2017年度に続き、多忙を極めた年でした。救急車の受け入れ台数は昨年に続き、1200台を超えました。救急車の受け入れが増えたために、それに伴う入院・手術・退院調整は必然的に増加した状態が続いています。より多くの救急患者を受け入れることと、ベッドをできるだけ満床に近づけることという、相反する作業が同時進行で達成されつつあります。

2018年度も全身麻酔手術件数が840件を超えました。高齢で全身に合併症を抱えた患者様の術後合併症を最小限に抑えた治療ができるのも、麻酔技術と当院外科医のサポートの賜物と考えています。これは高齢化社会を迎えた広島においても、当院最大のセールスポイントであると思っています。『高齢者に優しい低侵襲手術のシムラ病院』を標榜すべく、安心安全な医療が提供できる病院として、医療安全問題にも病院を挙げて取り組んでいきます。創立61年という歴史の重みを噛みしめながら、当院の理念である『救急医療をとおして社会に貢献する』を追求していきたいと思っています。

一方で整形外科スタッフの充実により、『外傷専門のシムラ病院』から、『外傷も整形外科変性疾患も治療出来るシムラ病院』へと劇的変化を遂げつつあります。病院スタッフ一同これらの変化に対応していく様精進していく所存ですので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## 副院長

### 整形外科 池尻 好聰

平素より大変お世話になります。本年度も救急医療を柱に、外来診療、急性期医療、回復期リハビリテーション、緩和ケアなどに取り組んでまいります。整形外科の救急患者が年々増加しています。

常勤整形外科5名、非常勤整形外科医で対応しており、麻酔科医の協力のもと早期に適切な治療を行うように努めています。高齢者の骨折患者が増加するなか、当院は常勤外科医3名の併診療により高齢者の全体的な治療にあたっています。回復期リハビリテーション病棟では専従医のもと、充実したリハビリテーション医療を提供しています。

救急患者は広島各地から当院に搬送されます。当院だけでは治療対応が難しくなっています。治療や介護を継続するために、他の医療機関との連携が必要です。今後も皆様方のご支援をいただきながら、当院の役割を果たしていく所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。



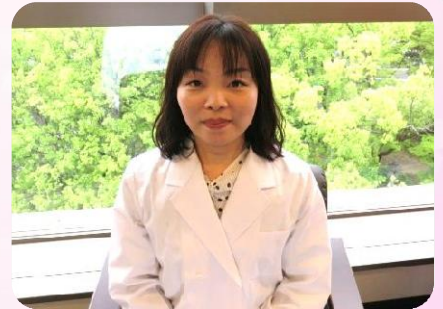
## ● 就任のごあいさつ

## 副理事長

### 麻酔科・緩和ケア 池尻 佑美

この度副理事長を拝命致しました池尻佑美と申します。卒後18年目で、広島大学病院麻酔科に入局後、結婚・出産もあり、2年の研修後は福岡県の飯塚病院・筑豊労災病院、千葉県の亀田総合病院・君津中央病院で育児をしながら手術麻酔に携わってきました。

8年前に広島に戻りまして、広島大学病院にて手術麻酔だけでなく、ペインクリニック・緩和ケアの診療に関わる機会を頂き、麻酔科学会専門医・指導医、緩和医療学会認定医の資格も得ることができました。諸事情あり、専任という形ではありませんが、自身の今まで培ってきた知識や経験をシムラ病院での診療に生かせるよう精一杯努力していく所存です。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



### 整形外科部長兼外来医長 浅野 圭

平成31年4月より、前小林整形外科部長の後を引き継ぎ整形外科部長を拝命致しました。近年の当院は救急医療に伴う骨折の治療のみならず、変形性関節症、腰部脊柱管狭窄症、肩腱板断裂等の変性疾患、スポーツに伴う靭帯損傷の鏡視下手術など様々な手術を行っております。

これまで救急医療に伴う骨折の治療が中心でしたが、近年は変性疾患の手術件数も増加しており、これも偏に当院に御紹介頂いた病院やクリニックの先生方のお陰と感謝致しております。

骨折治療に関しましても、手術までの待機時間が短縮しており(手術予定によっては当日手術も行っております)、早期離床を目指しております。

今後も地域医療に貢献できますよう、スタッフ一同日々精進していく所存でございますので、今後とも御指導、御鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



## 一般病棟師長 富吉 直美

このたび2階病棟看護師長に着任しました、富吉直美です。2階病棟は急性期病棟で、外科疾患や骨折等の整形外科患者の援助をさせていただいております。入院患者は高齢患者が多く、看護師も疾患だけにとらわれた看護だけでなく、退院後の生活を見据えた看護の提供が求められています。そのため、退院後も安心した生活が送れるよう、看護師の教育に力を入れ質の向上に努めていきたいと考えています。また、医師をはじめ多職種との連携を充実させ、地域医療に貢献できるよう努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



## ● 専門外来のお知らせ

### 整形外科専門外来のお知らせ

院長代理・整形外科 村田 英明

#### ①スポーツ外来 整形外科 池尻好聰

完全予約制でスポーツ選手を診察しています。完全予約制ですので、診察時間がゆっくりとれ、患者様には好評です。超音波エコー検査を駆使して、診断から、治癒過程に至るまで、患者様自身に体感してもらいながら、スポーツ復帰を進めていきます。

#### ②肩痛外来 整形外科 池尻好聰

五十肩、肩こり、腱板断裂、脱臼などの患者様を集中して診察しています。超音波エコー検査を駆使して、若いスポーツマンからご高齢の難治性肩関節痛でお悩みの方まで、幅広く診察治療しています。

#### ③脊椎外来 整形外科 村田英明

脊椎手術件数は脊椎手術が2014年度97件、2015年度202件、2016年265件、2017年265件、2018年度は194件でした。内視鏡を駆使して、低侵襲手術を心がけています。入院期間はヘルニアであれば最短術後1日、狭窄症であれば最短術後3日でした。高齢者の骨粗鬆性脊椎圧迫骨折に対しても、当院のBKP手術では最短術後1日の退院も可能です。当院のBKP手術は年齢、骨折型、全身状態で予後判断しながら、脊柱変形を残さない治療を続けていく所存です。

#### ④人工関節・脊椎難病外来 整形外科 村田英明

故あって、開店休業中です。というのも脊椎患者が多く、実質的には脊椎難病外来になっています。人工関節の方は、過去手術した患者さんのfollowが主になっています。遠く山口県や名古屋で手術した患者さんが来院されています。術後25年経過したTKA患者さんを診察していると、昔は10年の寿命と言われていた人工関節ですが、特にポリエチレンの最近の進歩によって、人工関節が一生涯ものになりつつあるのを実感しています。指の人工関節から、上肢・下肢に至るまでの人工関節患者の診察を行なっています。



【次頁：整形外科専門外来 人工関節外来について】

## 整形外科専門外来：人工関節外来について

整形外科診療部長 吉岡 徹

毎週月曜日午前中、水曜日午前、午後人工関節外来を行なっています。

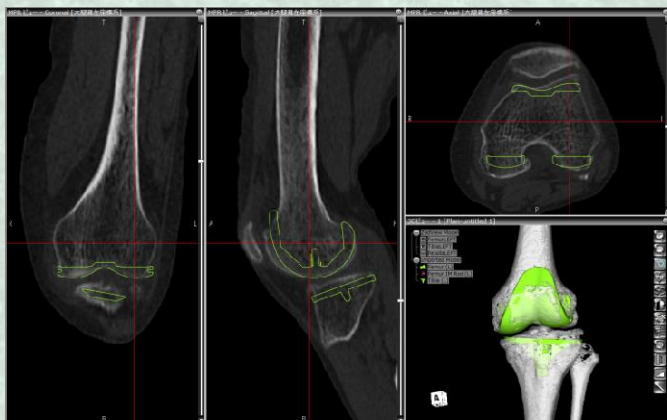
人工関節手術は、膝関節、股関節を中心に、20年の臨床経験と科学的根拠に基づいた手術を行っています。

特に膝関節は術後安定して歩ける膝、良好な機能獲得を目標に、個人個人の膝の形態に合わせたオーダーメイドの人工関節手術を行っております。

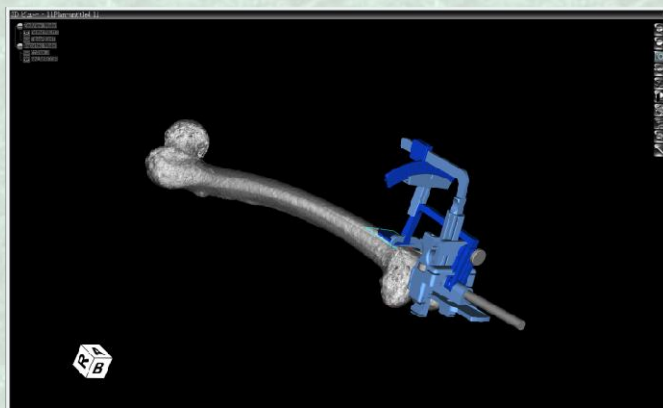
骨の形は立体的に人それぞれ少しずつ異なっており、術後良好な機能を獲得するためには、それぞれの骨の形に合った手術を行うことが理想的です。

当院では術前のCT画像をコンピューターに取り込み、特別なソフトウェアを使用して、手術を受けられる方個々の骨の形に合うように手術前計画を立てています。さらにその計画を元に正確な手術ができるよう、専用器械を使用して手術を行っております。この方法では、手術を受けられる方個々の骨の形に合った人工関節の設置が可能で、個々の膝にあわせたオーダーメイドの手術を行っております。しかも変形が高度な膝や再置換膝に対しても対応することができます。

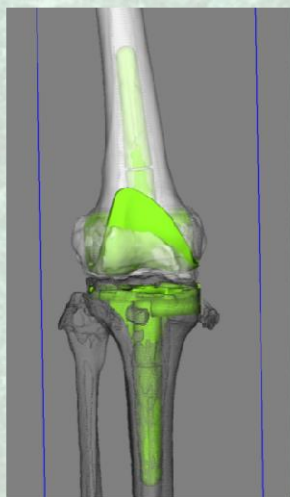
常に安全で高い水準の手術、治療を提供し、患者様に満足頂けるよう努力していく所存でありますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



1、3次元術前計画



2、3次元術前手術シミュレーション



3、高度破壊膝術前

術前計画

術後

ひざ  
個々の膝にあわせた  
オーダーメイドの手術  
を行っております。

## 外科専門外来のお知らせ

院長 岩田 尚士



一般病棟

副医長 古川 高意



外科では切創、挫創、熱傷などの外傷処置のほか、火曜日の午前中に**乳腺専門外来**を開設しております。広島大学乳腺外科と提携し、乳腺専門医の笹田伸介医師による診察を行っております。乳がん検診をはじめ、精密検査、また広島大学で手術を受けられた患者様のフォローアップを行うサテライト病院として広くご利用頂ければと考えております。マンモグラフィ撮影は女性の放射線技師が対応致しております。

また、木曜日には**NST 外来（栄養サポート・摂食障害外来）**として中心静脈ポート留置や胃瘻の造設・交換などを行っております。栄養相談や栄養状態の評価なども承っております。

水曜日、金曜日の午後には**緩和ケアの相談外来**を開設しております。緩和ケアに関するあらゆるご相談に対応致します。

今後とも当院外科専門外来をご活用の際は、何卒宜しくお願い致します。

### ● 外傷について

外来医長 浅野 圭

当院は以前より救急医療に力を入れており、骨折治療に従事して参りました。



2018年度も2017年度に続き、救急車の受入台数は1200台を超えております。Walk in での骨折患者も含めると年々増加傾向で、四肢の骨折の手術、脊椎圧迫骨折に対するBKP(経皮的椎体形成術)を中心に行っている状況です。

なお、大腿骨転子部、頸部骨折に関しましては早期離床を目標とし、最短で搬送当日、基本的には翌日(週末は除く)に手術を行い、術翌日よりリハビリを開始しております。

これからも地域の骨折治療に貢献出来ますよう、スタッフ一同精進してまいりますので、今後も御指導、御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

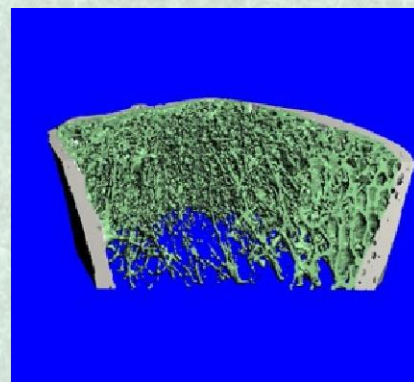
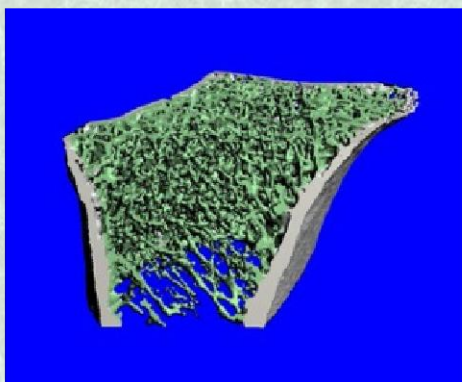
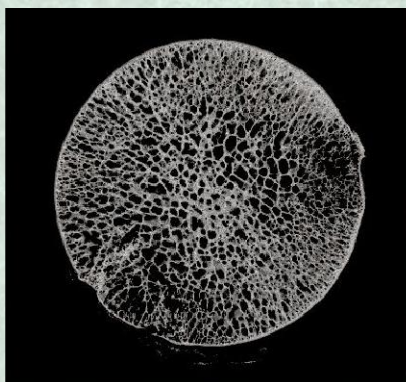


## ● 骨粗鬆症外来、HR-pQCT、DEXA について



整形外科 沖本 信和

毎週金曜日、午前と午後に**骨粗鬆症外来**を行っています。  
骨粗鬆症・骨の病態についてのご質問にお答えしたり、検査や治療の依頼など、生化学検査や画像診断をもとに行っております。また、かかりつけ医に戻し治療することを基本に行っております。当院の特徴は骨の量を測定するDEXAと手首と足首の骨で骨の質（骨密度）を検査する高精度装置HRpQCTが使用可能です。  
骨に心配を抱いている患者さん、骨の病態をもっと知りたい先生方、是非、お気軽に来院・ご紹介いただければ幸いです。



【高精度装置HRpQCTの画像】

外来副師長 滝本 真由美

日本の骨粗鬆症患者は推定1,300万人と言われており、骨粗鬆症に対する治療率と治療継続率の低さが問題となっています。

骨粗鬆症は「沈黙の疾患」と言われ背骨の骨折が自覚症状なく加齢と共に潰れ背中や腰の曲がりかひどくなり身長が縮みます。これが「いつのまにか骨折です。」



骨量の減少により転倒をきっかけに手首・足の付け根・背骨・腕の付け根を骨折し要介護状態になる高齢者が年々増加しています。

骨粗鬆症の治療の目的は、骨折を予防することです。

骨粗鬆症の治療は、食事・運動・薬物療法があります。食事療法では、骨を強くするために、栄養バランスの良い食事を心がけます。運動療法では、骨密度を増加させたり筋肉を増加させたりすることが期待できます。薬物療法では骨折リスクを低下させるためさまざまな薬があります。これらの治療を早く始め、しっかり継続することが、将来の骨折、寝たきりを防ぐために大切なポイントとなります。当院では週1回金曜日に**骨粗鬆症外来**で専門医による診察を行っています。まずは、シムラ病院で骨粗鬆症の診察を受けて、自分の骨の状態を検査してみませんか。お気軽にお問合せ下さい。お待ちしております。



## 放射線科科長 森 美由紀

今回も HR-pQCT で話題提供。

この装置、本来の用途は骨密度の定量なのですが、『高精細』を売りにしているため、骨折箇所の撮影依頼も時々出てきます。

もちろんありがたくお受けするのですが、実際の撮影現場は・・・。

下腿の疲労骨折観察などでは、装置付属のキャストを利用するだけでは思う

部位は撮影できず、どうにか工夫を凝らして（半ばムリヤリ…）撮影を行っております。セッティング中に患者さまに『大変そうですね』と気を使われることがあるとかないとか・・・。

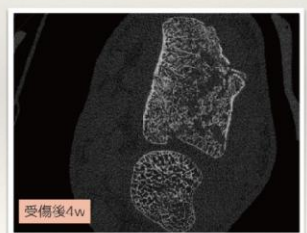
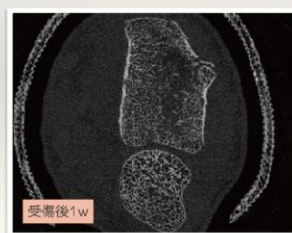
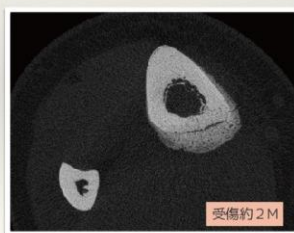
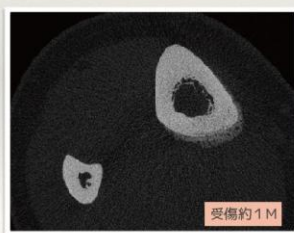
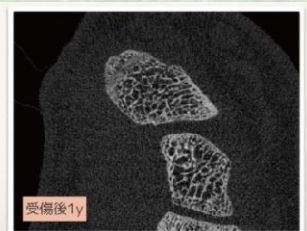
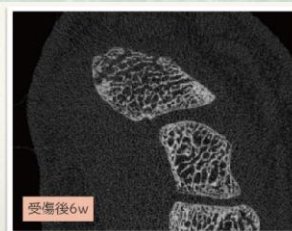
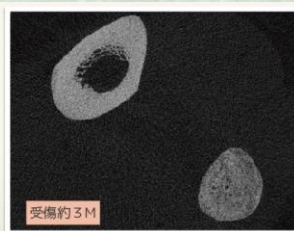
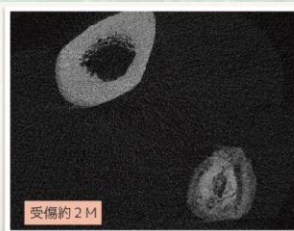
そんな中、とある加工屋さんが協力くださり、下腿撮影用のキャストを設計する機会を得ました。出来るだけ費用を抑えつつ、任意の場所が撮影できるよう検討を重ね、とても良い感じに設計できたのですが、さすがワンオフ、それでも高額なお見積もり。共同購入を募るにも日本に3台の装置。まだまだ導入には敷居が高そうです。

それでも、そうやって試行錯誤しながら得た画像を眺めていると、通常のCT画像とはまた一味違う人間の身体の神秘さがにじみ出ているように感じられるなど、何度見てもよい感じです。今回はそれら画像の一部をお見せすることにしましょう。

提示1例目は舟状骨骨折、2例目は頭骨骨折、3例目は腓骨疲労骨折、4例目は脛骨疲労骨折。経時的に見ていくと画像から骨代謝を感じることが出来ます。

体幹部や、四肢でも肘膝よりも近位の撮影は出来ない等々、制約の多い検査ではありますが、他の装置には無い面白さがあります。今後は、偽関節が出来る過程なども捉えていければと思いますが、狙って得られるものでもないの、地道に撮影を続けていきたいと思えます。

今回は紙面の関係で経過の全画像をお示し出来ておりません。ご興味のある先生がいらっしやいましたらご見学なども大歓迎です！



## ● 「ホスピス緩和ケアデー」イベントを開催しました

院長 岩田 尚士、緩和ケア病棟師長 山崎 真由美



緩和ケアの普及啓発を目的に、世界各国のホスピス緩和ケア施設や団体が、毎年10月に「ホスピス緩和ケア週間」として1週間、様々なイベントを開催します。国内でも毎年ポスター掲示やセミナーなどの企画開催が行われています。2018年は全国で138の関連したイベントが行われ、当院も「ホスピス緩和ケア週間」の最終日にあたる10月13日（土）に、近隣地域に向けたイベントを開催しました。医師による「アドバンス・ケア・プランニング」の講演と緩和ケア相談や病棟見学を行い、多くの方に参加して頂きました。



## ● 緩和ケア病棟（3階：17床）のご案内



### シムラ病院の緩和ケア病棟は、開設16年目を迎えます。

緩和ケア病棟では、がんに伴う体の痛みや不快な症状、気持ちの辛さなどを出来るだけ和らげるための治療を行います。そして、患者さまとご家族が望む場所で、大切な時間をその人らしく安心して過ごして頂けるように、各分野の専門スタッフが協力しながら、最期の時まで心のこもったケア提供に努めています。

### 【当院緩和ケア病棟の特徴】

- ◆ 緩和ケア病棟に入院中の患者様のご家族様に限り、終日面会をしていただくことができます。  
※ 面会者の来院予定時間がわかる場合には、事前に病棟スタッフまでお知らせください。

正面玄関 施錠時間：月曜日～土曜日 0：00～8：00  
日曜日・祝日 0：00～9：00

- ◆ 飼い犬との面会もしていただけます。詳しくは、病棟スタッフにお声がけください。

## ● 新任医師紹介



初めまして。シムラ病院 外科の 甲斐 佑一郎 と申します。  
平成 23 年広島大学医学部卒業後、安佐市民病院で研修し、広島大学病院原爆放射線医科学研究所腫瘍外科に入局致しました。  
外科医として安佐市民病院、広島大学、世羅中央病院、広島共立病院で経験を積み、この度シムラ病院で勤務させて頂くことになりました。  
緩和ケア病棟も担いながら、少しでも貢献できるよう努力して参ります。  
何卒どうぞよろしくお願い致します。



初めまして。シムラ病院 整形外科の 藤井 紀光 と申します。  
平成 26 年川崎医科大学医学部を卒業後、2 年間の初期研修を経て、平成 28 年 4 月に福岡大学整形外科に入局いたしました。その後は、福岡大学病院、豊見城中央病院で主に下肢の外傷・変性疾患の診療に携わってきました。  
この度、医局人事に伴い、本院で勤務させて頂くことになりました。  
当院では外傷疾患を中心に診療に従事させていただきます。  
何卒よろしくお願い致します。

## ● 院外講演会活動（社会貢献活動）について（実績紹介）

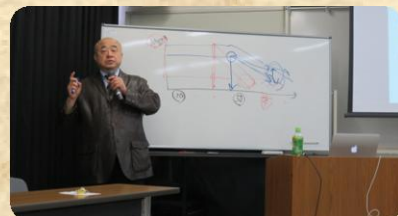
シムラ病院では、整形外科疾患について正しく理解し、治療の参考にしていただくために、一般の方々を対象とした院外講演活動を行っております。

院外講演活動実績一覧 院長代理 村田英明

【期間：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月】

- ①主 催：（公財）広島市文化財団 観音公民館  
共 催：観音地区公衆衛生推進協議会  
場 所：広島市観音公民館 ホール  
（住所：広島市西区観音本町 2-1-77）  
日 時：平成 30 年 11 月 16 日（金）13：30～15：00  
講演内容：「生涯自分の足で歩くために」  
～災害時など いざという時に備えて～  
参加者数：65 名
- ②主 催：五日市観音西地区まちづくり推進協議会、シルバーネット  
共 催：（公財）広島市文化財団 観音台公民館  
場 所：観音台公民館 ホール  
（住所：広島市佐伯区観音台三丁目 16 番 5 号）  
日 時：平成 31 年 2 月 22 日（金）13：30～15：00  
講演内容：「生涯自分の脚で歩くために」～腰と脚（あし）～  
参加者数：87 名

年間合計参加者数：152 名



## 各部署紹介

### 通所リハビリテーションのご紹介：リハビリテーション科主任 堀智博

リハビリテーション科では、介護保険でご利用頂ける通所リハビリ(デイケア)を行っています。理学療法士、作業療法士を専従で配置し、個別リハビリと自主トレを軸に1人1人の生活における困りごとを解決するためのプログラムを提供しています。4月より理学療法士1名を加え、より多くの方にご利用頂ける体制となりました。

80分という短時間のプログラムとなりますので、ご自分の時間を有効に使いながら体力の向上や動作能力の改善を図りたい方、長時間のサービス利用が難しい方等に適していると思います。また、言語聴覚士が聞く・話す、飲む込む(嚥下)こと等に不安のある方に対して対応ができるのも特徴です。

住み慣れた地域でイキイキとした生活が送れるよう支援させていただきますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

サービス提供時間	月	火	水	木	金	土
9:00～10:20	●	●	●	●	●	△
10:50～12:10	●	●	●	●	●	△
13:50～15:10	●	●	●	●	●	△
15:40～17:00	●	●	●	●	●	△



### 《お問い合わせ》

#### シムラ病院 通所リハビリテーション【4階】

【事業所番号：3410211183】

〒730-0841 広島市中区舟入町3番13号

TEL: 082-294-5151 (代表) FAX: 082-294-5152

●受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00

●休 日：土日曜日、祝祭日、盆(8/13～16)、年末年始(12/31～1/3)

●シムラ病院 リハビリテーション科 通所リハビリ担当まで

### MA (メディカルアシスタント) の紹介：MA主任 今枝璃香

平成20年の診療報酬改定により、医師の業務負担軽減や役割分担を進める目的から、医師の指示の下、医療文書作成代行などの事務的作業を行う要因として【医師事務作業補助者】という職種が誕生しました。

当院では、平成26年にMA (メディカル アシスタント) 課として発足しました。

医師は診察や手術以外にも多くの業務があり、その中には事務的な業務も含まれます。私たちが医師の事務作業を代行することで、医師が患者様と直接接する診察や手術に専念でき、患者満足度の向上に貢献していると考えます。現在の主な業務として、整形外科外来のカルテ代行人力や予約業務、診断書、診療情報提供書作成などを行っています。

現在、医師の働き方改革も推進されており、今後更に医師の業務負担を軽減すると共に、より良い医療を医師と共に提供できるよう努力し続けたいと思います。



【MA（メディカルアシスタント）医師事務作業補助者】（つづき）



**診療技術部 薬剤科の紹介：薬剤科科长 岡東祐孝**

薬剤科の業務内容は、医師の処方箋に基づく調剤業務を初め、抗がん剤調製、入院患者に対するベッドサイドでの薬剤管理指導業務、医薬品管理、治験業務など多岐にわたっています。

当院では高齢者の外傷患者が多いため、複数の病態・疾患を有しています。そのため、入院時の持参薬鑑別時に複数の薬剤を併用している処方方を高頻度で目にします。

多剤服用患者では有害作用、アドヒアランス低下、相互作用などの問題が報告されているため、処方見直しやアドヒアランス向上を図るため薬剤師による早期介入に力を入れています。

チーム医療では、がん化学療法、緩和医療、ICT、治験など積極的に活動しており、レジメン管理に基づく抗がん剤の調製や ICT では抗菌薬の使用動向を監視し適正使用を啓蒙するとともに、消毒薬の適正、且つ安全、経済的な使用を推進しています。

また、特に安全管理の面では、医薬品に絡んだ医療事故は多く発生しており、薬剤師として少しでも医療事故防止に貢献できるようシステムの見直しを図り、リスクマネジメントに積極的に取り組んでいます。



## ● 地域連携室のご紹介

地域連携室のご紹介：MSW 主任 山口亜紀子

### ■ 紹介患者の受付

地域連携室では、緩和ケア病棟及び回復期リハビリテーション病棟への転院のご相談を承っております。担当のソーシャルワーカーまでいつでも御連絡下さい。

### ■ 医療福祉相談、退院支援

患者様やご家族様より、入院中・退院後の生活などについて御相談をお受けしています。また、行政や福祉施設、在宅部門との調整も行います。お気軽に御相談ください。

### ■ 医療患者支援担当者・相談日時

- 緩和ケア病棟担当 須田 千絵美（社会福祉士、精神保健福祉士）（写真：左）
- 回復期リハビリテーション病棟担当 山口 亜紀子（社会福祉士、介護支援専門員）（写真：右）
- ※緊急及び急性期一般病棟への患者様のご紹介は、担当科医師へ直接ご連絡下さい。
- 業務時間：平日/8:30~17:30 土曜日/8:30~12:30
- 連絡先：TEL:082-294-5151（代表）、FAX:082-294-5152（代表）  
TEL:082-231-6720（医療ソーシャルワーカー直通）



## ● Google ストリートビューで施設内をご覧いただけるようになりました

院内を 360 度のパノラマでご覧になれるようになりました。詳しくは下記【QRコード】または【当院ホームページ：フロア案内】をクリックください。



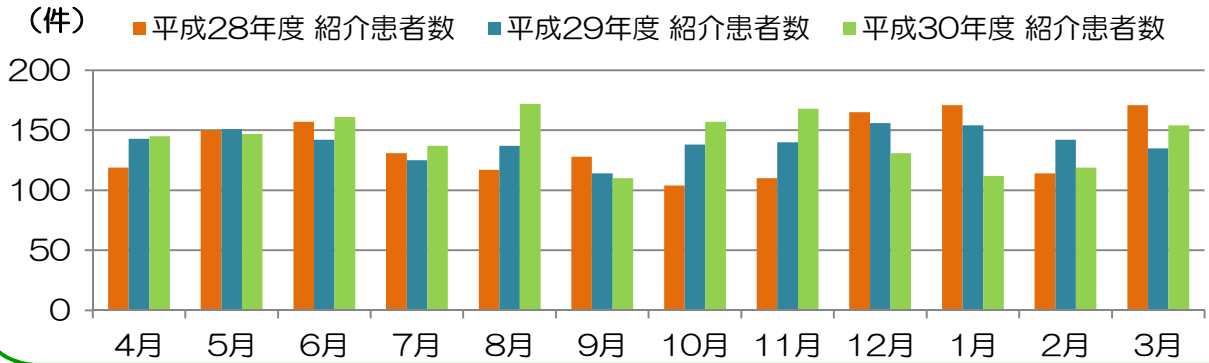
施設内ストリートビュー  
QRコード

こちらにかざしてご覧いただけます

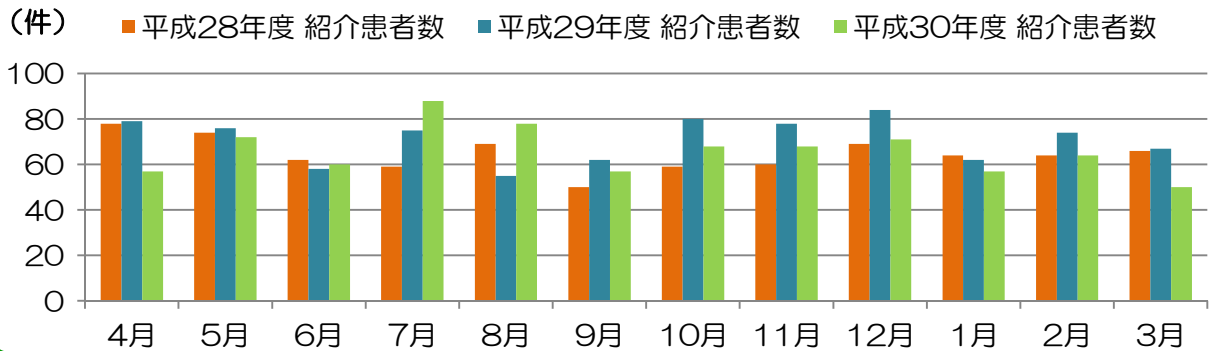


● 当院からの紹介患者数と院外（他施設）からのご紹介患者数

当院からの紹介患者数

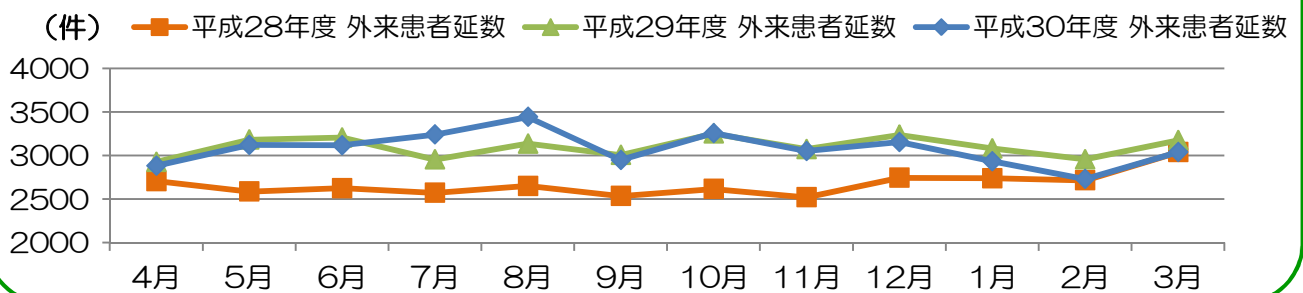


院外（他施設）からのご紹介患者数

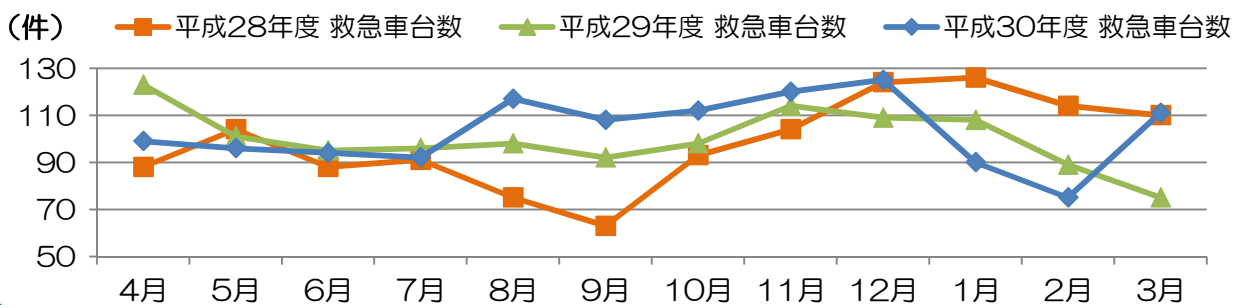


● 病院実績のご紹介

外来患者延数



救急車受入台数



## ● 「患者満足度調査」アンケート結果報告（平成 30 年度実施分）

より良い医療サービスの提供と、患者様・ご家族等からの貴重なご意見、ご要望、ご相談等を参考に改善を行い、皆様により信頼していただける病院づくりを目的に「患者満足度調査」アンケートを実施しております。【CS委員会】

### 【概要】

『外来・入院患者アンケート結果報告』  
（平成 30 年 7 月実施）

#### 《外来患者アンケート》

対象期間：平成 30 年 4 月～7 月  
回収件数 84 件 / 200 件  
（回収率 42.0%）※前年回収率 44.0%

#### 《入院患者アンケート》

対象期間：平成 30 年 4 月～7 月  
回収件数 114 件 / 200 件  
（回収率 57.0%）※前年回収率 40.5%

対象：患者様およびご家族の方

項目：各項目についての満足度

評価：5 点満点

〔 5 大変良い 4 やや良い 3 普通  
2 やや悪い 1 大変悪い 〕

### アンケート結果

#### 《外 来》

前年比較、全体的に下がる結果となりました。  
前年度の結果が良かった分、今回の評価は、  
主項目の抜粋平均で比較すると 0.1 ポイントの  
ダウン結果となりました。  
CS 委員会、該当部署に於いて、結果を踏まえ、  
下がった理由を分析し、改善して参ります。

#### 《入 院》

前年比較、外来患者アンケート同様、全体的に  
下がる結果となりました。  
前年を大きく下回った項目については、改善が  
必要と考え、体制の見直し、接客教育の再徹底、  
言葉使い等、各部署改善をいたします。  
医療の質の向上、サービスの向上が患者満足・  
職員満足につながる事を理解して、行動して  
参ります。

### 平成 30 年度の取組み例

- 健康教室、イベント活動開催  
イベント活動（P.15 参照）  
（お花見会・花火大会・秋のお団子会等）
- 院内・院外の禁煙パトロール
- 院内函書の整理整頓
- 接客研修会の実施 ほか

### アンケート結果

最高点

最低点

#### 【外来】

評価：5 大変良い 4 やや良い 3 普通 2 やや悪い 1 大変悪い（5 点満点）

【設問内容】	28 年	29 年	30 年	前年比較
医師の対応	4.3	4.4	4.1	↓
医師による病状や治療方法の説明	4.2	4.3	4.2	↓
医師に病状等について質問しやすいか	4.2	4.2	4.2	↔
医師によって不安や心配が軽くなったか	4.2	4.2	4.0	↓
看護師の対応等	4.3	4.3	4.1	↓
看護師による注射や採血の説明・やり方	4.1	4.1	4.0	↓
放射線技師の対応等	4.1	4.2	4.0	↓
臨床検査技師の対応等	4.1	4.2	4.2	↔
リハビリスタッフの対応等	4.5	4.5	4.3	↓
受付・事務員の対応等	3.9	4.0	3.8	↓
待合室の環境	4.0	4.0	3.8	↓
診察室の環境	4.1	4.2	3.9	↓
待ち時間	3.0	3.1	3.2	↑
救急時の診療体制	4.2	4.3	4.3	↔
病院として患者に親切	4.0	4.0	3.8	↓
今後の当院の利用意志	4.4	4.4	4.1	↓
当院を紹介しますか	4.2	4.1	3.9	↓
上記項目平均点	4.1	4.1	4.0	↓

※アンケート調査結果から主項目を抜粋したものです。

### アンケート結果

最高点

最低点

#### 【入院】

評価：5 大変良い 4 やや良い 3 普通 2 やや悪い 1 大変悪い（5 点満点）

【設問番号・項目】	28 年	29 年	30 年	前年比較
病院内の環境	4.1	3.9	4.0	↑
医師による病状や治療方法の説明	4.3	4.5	4.2	↓
医師に病状等について理解できたか	4.2	4.5	4.1	↓
医師によって不安や心配が軽くなったか	4.1	4.3	4.2	↓
MSW(相談員)の対応等	4.3	4.3	4.3	↔
看護師の対応等	4.2	4.1	4.3	↑
看護師の治療等の説明等	4.1	4.0	4.0	↔
ナースコールの対応	4.2	4.1	4.0	↓
放射線技師の対応等	4.2	4.2	4.0	↓
臨床検査技師の対応等	4.0	4.3	4.0	↓
リハビリスタッフの対応等	4.4	4.4	4.4	↔
薬剤師の対応等	4.2	4.4	4.1	↓
事務員(病棟・外来)の対応等	4.1	4.0	4.0	↔
救急時の医療体制	4.2	4.3	4.2	↓
今後の当院の利用意志	4.3	4.1	4.1	↔
掲示物の内容	3.6	3.8	3.7	↓
当院を紹介しますか	4.2	4.0	3.9	↓
上記項目平均点	4.2	4.2	4.1	↓

※アンケート調査結果から主項目を抜粋したものです。



## ● 院内行事のご紹介

シムラ病院では、患者様に季節を感じていただける行事を企画しております。

平成31年4月1日 平成31年度 入社式を行いました。  
診療部2名の新任医師を含む18名の職員が入職しました。

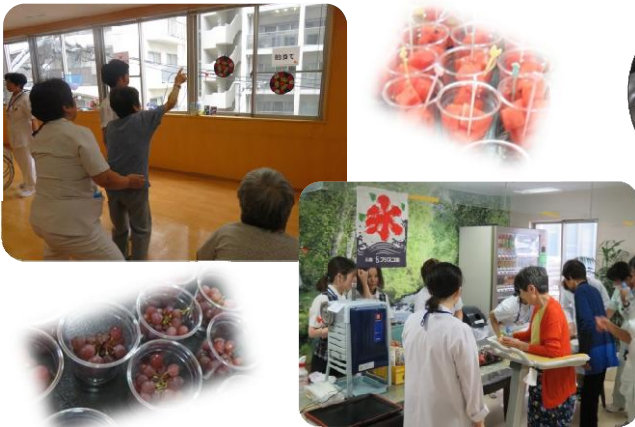
### ■平成31年4月1日 入社式



### ■4月 お花見会



### ■8月 夏祭り



### ■9月 秋のお団子会



### ■12月 クリスマス会



### ■2月 健康教室



● 専門外来診察一覧表

整形外科専門外来診察一覧表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	人工関節 専門外来 吉岡	—	—	脊椎専門外来 村田	肩痛外来 池尻 骨粗鬆症外来 沖本	—
午後	人工関節・ 難病専門外来 村田 スポーツ外来 池尻 ※1	肩痛外来 池尻	人工関節 専門外来 吉岡	脊椎専門外来 村田	骨粗鬆症外来 沖本	—

※1：スポーツ外来は完全予約制です

外科専門外来診察一覧表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	—	乳腺外来 笹田 (12:00まで) 広島大学病院乳腺外来	—	—	—	—
午後	便秘外来 北川 (17:00まで)	—	緩和ケア 相談外来 岩田	NST外来 (栄養サポート・ 摂食障害外来) 古川	緩和ケア 相談外来 古川・岩田	—

循環器内科・生活習慣病診察一覧

生命の源である「心臓」と、その心臓から送り出される血液の力ともいえるべき「血圧」、更に心臓と全身の臓器や組織を繋いでいる「血管」に対する診察を担当するのが循環器内科です。

血管は全身にめぐるため、体のあらゆる不調に対する診察またはオピニオン（意見・見解）が可能になります。生活習慣病は、心臓や血管の病気の原因になる疾患ですので、合わせてご相談ください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	—	梶川	—	梶川	日高 ※2	—
午後	—	橋本	—	—	—	—

※2：『禁煙外来』も開設しています

胸の様子がおかしい、息苦しいやめまい、むくみなどでお悩みの方、生活習慣病をお持ちの方は、お気軽にご相談ください。

【診療時間】 9:00 ~ 12:30、14:00 ~ 18:00 (水曜日14:30 ~ 18:00)  
(診療時間は、適宜変更される場合がございますので、ご了承ください。)

お問い合わせ・ご予約 電話番号：082-294-5151 (代)

## ● 外来診察予定表

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
整形外科	午前	吉岡・藤井 (10:00~) 加藤(広大整形)	池尻・浅野	吉岡・浅野	村田(10:00~) 松原(広大整形)	池尻・藤井・ 沖本	産業医大整形
	午後	村田(15:00~) 久保(広大整形)	池尻 (14:30~)	吉岡・浅野	村田(14:30~) 大田(広大整形)	藤井(14:30~) 沖本	広大整形 or 広大救急
整形外科	午前	人工関節専門外来	—	—	脊椎専門外来	肩痛外来 池尻	—
		吉岡			村田	骨粗鬆症外来 沖本	
専門外来	午後	人工関節 ・難病専門外来 村田	肩痛外来	人工関節専門外来	脊椎専門外来	骨粗鬆症外来	—
		スポーツ外来 池尻(完全予約制)	池尻	吉岡	村田	沖本	

外科 消化器科	午前	岩田	笹田(12:00まで)	甲斐・古川	岩田	古川	甲斐
	午後	随時対応	岩田	随時対応	古川	広大外科	広大整形 or 広大救急
外科 専門外来	午前	—	乳腺外来 笹田(広大乳腺外科)	—	—	—	—
	午後	便秘外来 北川(17:00まで)	—	緩和ケア相談外来 岩田	NST外来 栄養サポート・摂食障害 古川(代診の場合あり)	緩和ケア相談外来 古川・岩田	—

内科	午前	北川 (消化器)	梶川 (広大循環器)	北川 (消化器)	梶川 (広大循環器)	日高※ (広大循環器)	北川 (消化器)
	午後	北川(17:00まで) (消化器)	随時対応 (外科対応:岩田)	北川(17:00まで) (消化器)	随時対応 (外科対応:古川)	随時対応 (外科対応:広大外科)	広大整形 or 広大救急

◎ 診療時間は、適宜変更される場合がございますので、ご了承ください。

※『スポーツ外来』(月曜日午後)は2019年(平成31年)1月7日から完全予約制になりました。事前のご予約をお願いいたします。

※『禁煙外来』(金曜日午前)開設しています。

## ● 病院の理念、スローガン、基本方針、患者さんの権利

【病院の理念】医療の原点は「いつでも」「どこでも」「だれでも」が適切な医療を受けられることである。救急医療が医療の原点といわれる由縁である。シムラ病院は、1日24時間、1年365日絶えることのない医療のニーズに応え、救急医療を通して社会に貢献することを目的とし、更に最後まで全人的医療を貫く。

【スローガン】 ●シムラ病院職員は、患者様を肉親とって診(看)みましょう。

●シムラ病院職員は、患者様には笑顔で接しましょう。

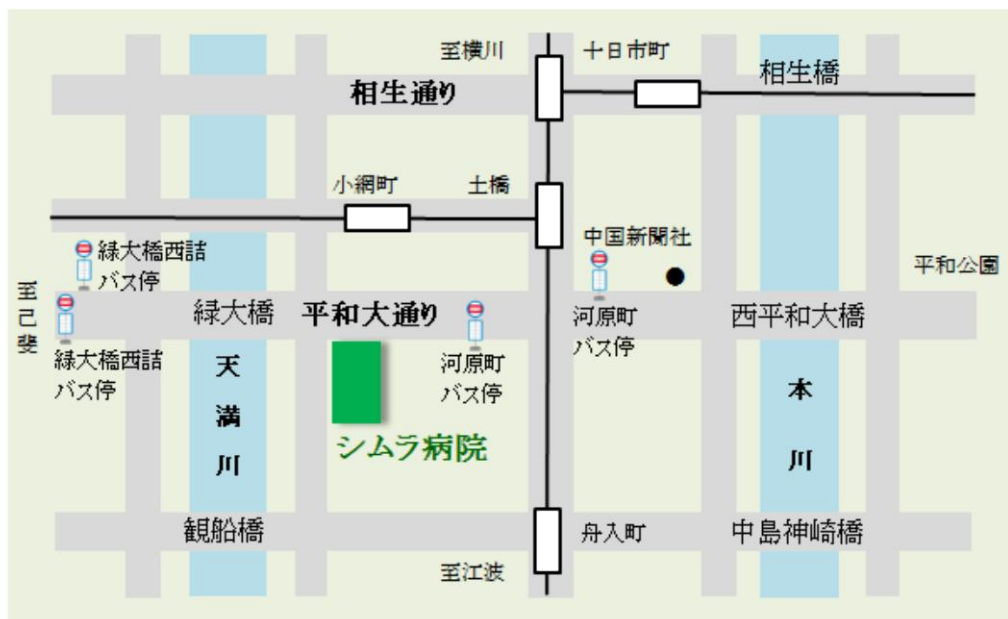
【基本方針】 ●安心できる医療の提供 ●安全な医療の提供 ●清潔(快適)な医療環境の提供

【患者さんの権利】患者様には、次の権利があります。

- 個人として尊重される権利 ●良質で適切な医療を平等に受ける権利 ●セカンドオピニオンを受ける権利
- 十分な説明を受け、理解のもと、自身の選択に基づいた医療を受ける権利
- 患者様のプライバシーが保護される権利 ●患者様の診療に関する情報提供を受ける権利

シムラ病院は、上記の患者様の権利を尊重します。

● 交通のご案内



広島電鉄で



- (江波線) 「舟入町」下車 西へ徒歩5分
- (宮島線)(西広島線)「小網町」下車 南へ徒歩5分
- (江波線)(宮島線)「土橋駅」下車 南へ徒歩5分

バスで



- 広島バス 25 号線 (草津線)「河原町」下車 西へ徒歩 2 分
- 広島バス 25 号線 (草津線)「緑大橋西詰」下車 東へ徒歩 2 分

タクシーで



- JR 広島駅から 約 20 分
- JR 横川駅から 約 10 分
- JR 西広島駅から 約 12 分
- 広島港 (宇品) から 約 15 分

自家用車で



お車でお越しの際は契約駐車場ありますので、「タイムパーク舟入1」、「タイムパーク舟入2」の駐車場をご利用ください。



医療法人社団曙会 シムラ病院

二次救急指定病院 / 労災保険指定病院 / 病院群輪番制病院 / 日本医療機能評価機構認定病院

〒730-0841 広島市中区舟入町 3 番 13 号  
 電話 082 (294) 5151 (代) FAX 082 (294) 5152  
 ホームページ <http://www.shimura.or.jp>

ホームページ QR コード



こちらにかざしてご覧いただけます

- 診療時間 平日 午前/9:00~12:30  
 午後/14:00~18:00 (水曜14:30~)
- 土曜 午前/9:00~12:30  
 午後/休日体制
- 休診日 日曜・祝日 (急患は随時受け付けます)

診療科目：外科・整形外科・脳神経外科・内科・消化器外科・  
 乳腺外科・循環器内科・消化器内科・肛門外科・放射線科・  
 麻酔科・リハビリテーション科・緩和ケア科